

**1 日 程**

清水中学校会場

受付 8:30～9:00 正面玄関 (工具、ミシン、炊飯準備)

開会式 9:00～9:15 3年ホール (北校舎 2F)

木工部門 (木工室)	アイデアバッグ部門 (被服室)	おべんとう部門 (調理室)	ロボコン部門 (3年ホール)
競技 9:30～11:30	競技 9:30～11:30	競技とプレゼン	コート準備
昼食 11:30～12:10	昼食 11:30～12:10	9:30～11:30	9:30～11:00
競技 12:10～14:10	競技 12:10～13:10	昼食 11:30～12:10	車検 11:00～11:30
片付け 14:10～14:30	発表会 13:10～13:30	片付け等 12:10～13:30	昼食 11:30～12:10
プレゼンテーション	感想記入・審査員の講評	感想記入・審査員の講評	競技 12:10～14:40
14:30～15:00	13:30～14:00	13:30～14:00	片付け 14:40～15:00
感想記入・審査員の講評	体験講座 14:00～15:30	体験講座 14:00～15:30	感想記入・審査員の講評
15:00～15:30			15:00～15:30
閉会式 15:30～16:00 3年ホール (北校舎 2F)			

<p><b>開会式</b> はじめの言葉 ( )                  主催者あいさつ 審査員紹介                  競技についての連絡 (各部門)                  終わり言葉 ( )</p>	<p><b>閉会式</b> はじめの言葉 ( )                  結果発表 表彰 ( )                  主催者あいさつ、連絡                  終わり言葉 ( )</p>
---	--

**2 参加生徒**

<p><b>【木工】</b> 地区大会で入賞者がエントリーした。</p>	<p><b>【お弁当】</b> レポート審査で事前に選抜した。</p>
<p><b>【アイデアバッグ】</b> レポート審査で事前に選抜した。</p>	<p><b>【ロボコン】</b></p>

### 3 競技内容

木 工 チ ャ レ ン ジ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・与えられた材料で生活や社会の問題を木工の技術により解決できる作品を設計・製作する。</li> <li>・4時間以内に板材を加工していく競技。特に仕上げ工程(塗装作業を除く)を疎かにしない。</li> <li>・材料はヒノキ板材2枚(寸法 t15×w200×L900)としシナ合板1枚(t4×w450×L450)＜使用しても良い＞とする。これら以外は、接合金具(釘、木ねじ、ボルトナット、ロックダウン金具、補強金具、蝶番)および取手、フック、マグネットキャッチのみ使用可とする。</li> <li>・作品の大きさは、3辺の合計が1600までとする。</li> <li>・製作工程において、さしがねによるけがき、のこぎりによる切断、平かんなによる部品加工、釘打ちによる組み立て、定規などによる検査、紙やすりによる仕上げ作業を含むこと。</li> <li>・競技者一人あたり、発表時間2分以内で作品のみを使ってプレゼンテーション(作品の使用法、工夫点、評価・活用結果など)を行う。</li> </ul> <p>※県大会では、材料費として2000円をお願いします。</p>
ア イ デ ア バ ッ ク	<p>長野県代表を3名選考し、2名の作品は関東甲信越大会(12月3日埼玉県)にエントリーする。</p> <p>製作について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①デザインについては各自工夫する。裏地はつけずに一重仕立てとする。</li> <li>②材料は2000円以内とする。 ③立体構成にする。『バッグ』の口がふさがるようにする。</li> <li>④ポケットは必ず『バック』本体につける。※貼り付けポケットを必ず一つつけること。(ポケットのうち必ず1つは、ポケット口を三つ折りにし、手でまつり縫いをする。)</li> <li>⑤スナップは必ず1つ以上付ける。(ボタンを付けることは可能)</li> <li>⑥<u>布の裁断は事前に行っておき、当日の競技は縫製から始めることができるようにする。</u></li> <li>⑦当日製作した『バッグ』の利用について、実際に入れるものを使いながら発表会を行う。</li> </ul> <p>1分程度の発表を行う。</p>
お 弁 当	<p>第18回全国中学生創造ものづくり教育フェアの規定に従う。</p> <p>長野県代表1グループを選考し、全国審査にエントリーする。(12月中旬 全国レポート審査)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・90分以内にお弁当をつくる。1グループ2人または3人のグループとする。</li> <li>・規定課題「魚」を使った調理を主菜。材料費の目安は一人分800円以内とする。</li> <li>・魚は切り身やすり身、干物、缶詰、冷凍等でよい。甲殻類(エビ、イカ、カニ)は不可。</li> </ul>
ロ ボ コ ン	<p>「基礎部門」「活用部門」「応用部門」「動画部門」は、全日中ロボコンのルール通りに県大会を行い、上位3チームが関東甲信越ブロックに出場できる。なお「基礎部門」「活用部門」「応用部門」参加校は、コート作成をお願いする。</p>

### 【ロボコン】 平成29年11月11日(土) 長野市柳原体育館体育館

「n-robo 部門」は例年通りに行う。参加形態は授業、部活、その他自由。

### 【作品コンクール】 平成29年11月18日(土)～19日(日) イオン佐久平

各地区のフェア担当や代議員が地区代表作品(技術5点 家庭5点)を持ち寄り展示する。

審査は11月18日(土) 午前中

#### I 授業内製作作品 部門

技術分野、家庭分野共に、教科の授業内に於いて授業時間内に創造製作をした作品の部門。  
(総合学習のもの、放課後活動等は含まない)

#### II 自主製作作品 部門

技術分野・家庭分野共に、長期休業や放課後活動等で、技術・家庭科で学習した知識や技術を發揮して製作した創造製作作品の部門。

応募作品の規定など

【大きさの制限】縦+横+高さ=160 cm 重量 25 kg以下

【作品製作費の制限】 I 部門は、製作費が 5000 円以下であること。

【制限に関する追記事項】

- ① 家庭分野衣類に関しては、人台に着せられるもの。
  - ② 家庭分野、折りたためて郵送できる大型作品については 900 mm×1500 mm以内
- ※技術作品 5 点、家庭作品 5 点を長野県代表として選考する。  
※入賞作品は事務局で 1 月の全国フェア終了後まで預かる。

## 大会役員名簿

### 大会運営・役員

大会長 芳原慶子（通明小）  
副大会長 三溝清洋（墨坂中）  
木工 ◎大槻尚（駒ヶ根東中） ○五味和高（箕輪中）  
バック ◎原山こころ（大町第一中） ○渋谷和子（豊野中） ○知野真里子（長野東部中）  
おべんとう ◎市川この美（明善中） ○滝沢かおり（清水中）  
ロボコン ◎中村知宏（三陽中） ○土田恭博（櫻ヶ岡中） ○原正人（稲荷山養護）  
作品展示 ◎瀬下祐介（佐久穂中） ○各地区の代議員またはフェア担当者  
木工・バック・おべんとう・ロボコン会場（清水中） 責任者 原山康則（清水中）  
作品展示会場（イオン佐久平） 責任者 瀬下祐介（佐久穂中）  
県事務局 田口直実（春富中）  
フェア事務局 高井久（上田第三中）

### 審査員

木工 内田 実（上松技術専門校） 有賀 大（遠山中学校）  
バッグ 福田 典子（信州大学） 太田正子（松本衣デザイン専門学校）  
おべんとう 石原 三妃（松本大学） 臼井 育子（岡田小栄養教諭）  
ロボコン 村松 浩幸（信大） 宮原 啓一（総合教育センター） 本会役員 ほか  
作品展示 各地区の代議員またはフェア担当者

### 実技指導講師

アイデアバッグ・おべんとう : 荒井利江、小池真樹（松本衣デザイン専門学校）  
「古着を使ったファッションショー」

## 今後の予定

### 関東甲信越大会

期 日 平成 29 年 12 月 3 日（日）

会 場 ウイング・ハット春日部（埼玉県春日部市）

エントリー アイデアバック 2 名 ※この 2 名とは別に、最優秀 1 名は運営県枠として全国大会に出場  
ロボコン 基礎部門 3 チーム 活用部門 3 チーム 応用部門 3 チーム  
※おべんとう 1 グループ・木工 1 名は、直接全国大会事務局で審査を受ける。

### 第 18 回 全国中学生ものづくり教育フェア

期 日 平成 30 年 1 月 20 日（土）～21 日（日）

会 場 水元総合スポーツセンター（東京都葛飾区）：

木工、アイデアバック、ロボコン、作品展示、パソコン

女子栄養大学：おべんとう